



2025年12月22日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 東郷 薫
(コード 4840 東証グロース)
問合せ先 管理部 IRG課長 高橋 圭紀
電話 03(3221)0211

(開示事項の経過)

東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更承認及び
「上場維持基準の適合に向けた計画」の撤回に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社東京証券取引所（以下「東証」）から、東証スタンダード市場への市場区分変更の承認を受け、2025年12月29日をもちまして、当社株式の東証における市場区分が、東証グロース市場から東証スタンダード市場へ変更されることになりましたので、お知らせいたします。また、当社は 2021年12月15日にグロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画（以下、「適合計画」）を提出・変更し、その内容を開示しているほか、各事業年度末における計画の進捗状況を開示しておりましたが、本市場区分の変更の承認に伴い、本日付で適合計画を撤回いたします。

当社は2001年4月には大阪証券取引所ナスダックジャパン（2013年に東証JASDAQに統合）上場を果たしたものの、中核事業のITソリューション事業は低迷し、新規の中核事業の創出が課題となりました。

そして、新規中核事業の創出及び事業の多角化を図るため、2007年に純粹持株会社に移行し、商号を「株式会社トライアイズ」に変更いたしました。当社グループの企業理念の3つの「I」に従い、積極的な事業ポートフォリオの創出に努めました。2007年に建設コンサルタント事業、2008年にファッショングランド事業、2016年には投資事業を開始しました。

事業多角化の過程において複数の組織改編等によりグループ全体の収益性が低迷しておりましたが、米国ハワイ州で展開していた投資事業を国内で行うため経営資源も国内投資へ振り向け、2023年より国内不動産投資事業へ本格参入することで収益性を強化し、2024年12月期においては3期ぶりに営業利益に転じる結果となりました。2024年12月期を境に、3つの中核事業において安定的に収益を確保して成長できる基盤が整備されたものと判断し、この度市場区分を変更するに至りました。

スタンダード市場への市場区分変更以降も持続的な成長及び企業価値の増大という目標に取組むことに変更はなく、現在の取組を推進し、安定的な成長を果たしていく所存であります。

これまでの皆様のご支援及びご厚情にあらためて感謝申し上げますと共に、今後とも引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

以上